

女性が輝くまちづくり

奈良県は平成27年の国勢調査で、専業主婦の割合が全国1位でした。そして田原本町も、県内の平均を超える高い割合となっています。

町内では、民生委員の活動、ボランティア団体の活動、介護予防の活動、サロン活動、商工会女性部のラジオ体操や生涯学習の文化団体の活動など、女性が家庭を支えながらも、いきいきとやりがいを持って地域のコミュニケーションの中心を担い活躍されている姿に感銘を覚える機会が多くあります。

人口減少時代の到来によって、女性の社会進出のニーズが高まっています。国内でも、2016年から2030年までの国際目



◀健康笑クラブの体操

▶商工会女性部のラジオ体操



標である、持続可能な開発目標（SDGs）をもとに、女性活躍、男女共同参画の推進が掲げられています。

その流れの中で、町では昨年の10月に、内閣府の地方創生人材支援制度を活用し、能力と意欲に満ちた女性職員を部長職として迎えました。当制度の活用や、女性が部長職に就いたことは町として初めてのことであり、町行政も大きく変わろうとしています。

これからのまちづくりは男性の社会活動だけではなく、女性が仕事やボランティアなどを通して、いきいきと活躍できる場を準備し、活用していただくことが重要であり、それは行政として一つの役割になっていくと考えます。

いきいきと輝く女性の皆さんの活動を支援していくことが、明るく活力のあるまちづくりにつながると確信しています。

12/26

子ども一日町長

町の未来について発表しました



12月26日、10人の小学生が「子ども一日町長」に委嘱されました。

森町長から委嘱状が交付された後、議長室で植田議長と名刺を交換しました。そして、議場で一人ずつ「こうなったらいいな 田原本」について発表。子どもたちから「犬と一緒に遊べるドッグランや小動物の散歩コースがある屋内施設の建設」「寺川の清掃ボランティア活動でまちをきれいに」などの提案がありました。最後に、森町長と意見交換をして、町章の由縁や休日の過ごし方などについて質問していました。



- 1 委嘱を受けた子どもたち
- 2 議場で発表
- 3 森町長と意見交換
- 4 庁舎内を見学